

地域医療の現場から



地域の中で選ばれる 病院を目指して

国保宇城市民病院 看護師長 林田喜久子

病院の概要

- 対象とする市民人口：約6万4千人
- 設立年：昭和28年11月
- 許可病床数：45床
- 入院基本料：13対1



常に時代の流れ、住民のニーズに対応

当院は、地域の中核的医療機関として、昭和28年に豊福診療所として開設されました。

昭和30年には国民健康保険松橋町立病院として一般病床30床での運営を開始し、地域医療を行ってきました。平成6年と平成9年に病床を増床し、現在、45床の病院として医療活動を行っています。

また、平成7年から救急医療告示病院として認可を受け、現在に至っています。

時代の流れに即応すべく、漸次、外来棟・病棟の改築・改修を行い、最新の医療機器を導入し、住民のニーズに応えられるように努力してきました。

その後、平成17年1月に、市町村の合併により宇城市民病院と名称を変え今日に至っています。また、平成18年には政府管掌健診施設（現・協会けんぽ 生活習慣病予防健診）の許可を受け、検診センターをオープンし、健診業務も実施しています。

安全で良質な医療を目指して

今、医療の現場では、医療の安全、医療の質の確保などに一層の関心が寄せられています。

当院も住民に安全かつ良質な医療を受けていただけるように、病院理念『患者様本位の医療に努め、地域から愛される心温まる病院をめざします。』に従い、職員一同職務にまい進しております。

医療の現場で起こしてはいけないエラーがあります。マンネリ化、意識改革の欠如などのヒューマンエラーです。当院では、このヒューマンエラーを無くすべく自己研さんし、住民の健康維持、安心・安楽な医療が継続されるよう努めてきました。

看護部としても、患者様の安全を確保し、良質な看護『心のサービス』を受けていただけるよう、スタッフ1人ひとりが看護の基本に従い、看護の質を高めるため日々研さんし、信頼される看護が実践され、住民の皆様から選ばれる宇城市民病院を目指して、今以上の努力を続けていきたいと思っております。

小規模でも充実した病院づくりを目指して。

